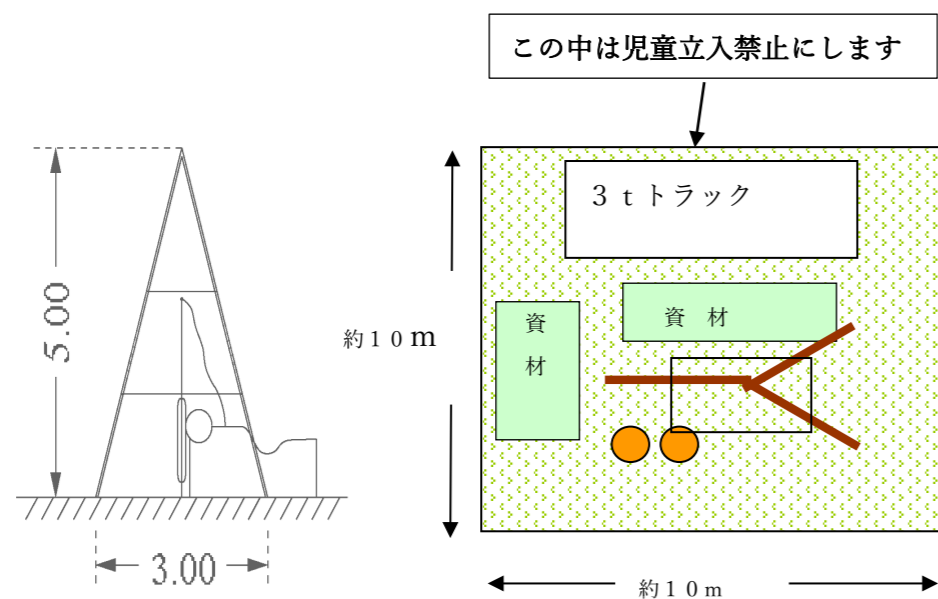


2. 作業スペースと調査機器



- ① 作業スペース
高さ5m、幅10m
平面形状は現地に合わせます。



小学校地質調査例（令和5年6月）



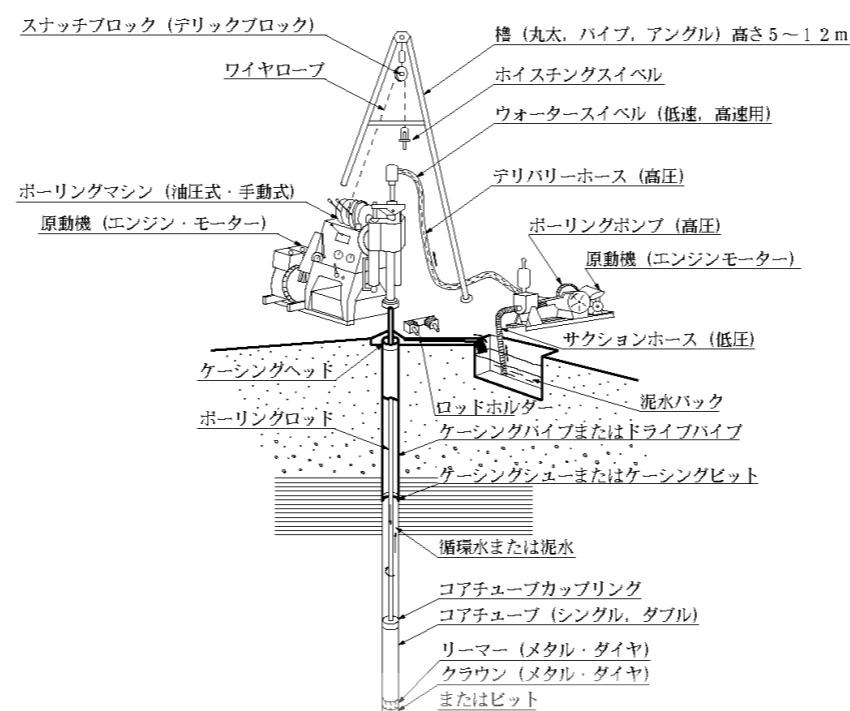
小学校地質調査例（令和5年6月）

- ② 調査例
作業中は、B型バリケード囲い
第三者が作業場所に入れないようにします。

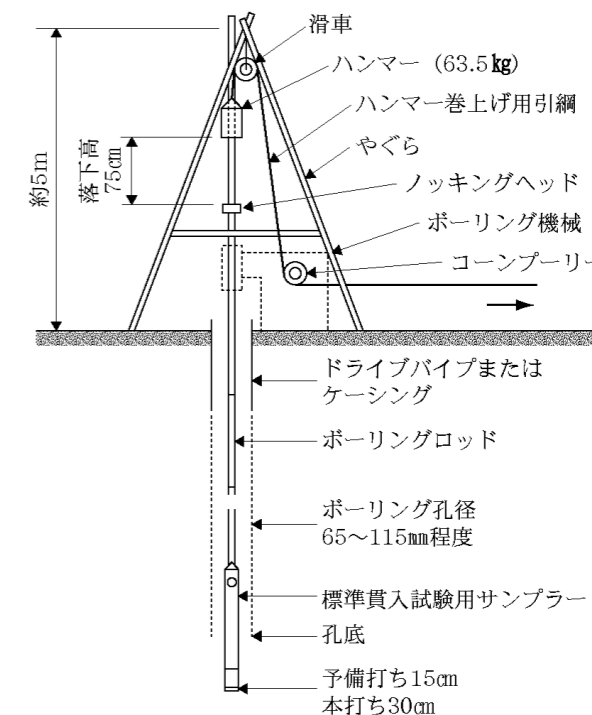


3tトラックによる積み下ろし状況

3tトラックからクレーン作業で
資材の積み下ろしを行います。
周囲の安全を確保しながら作業を
行います。



- ③調査機器 地中の様子
回転、給圧、泥水循環による堀クズの除去により、直径10cm程度の穴を掘り、地盤を調べます。



- ④音の出る試験 打撃音
標準貫入試験 1m毎実施（63.5kgのハンマーを75cmの高さから落下させ、地盤に30cm貫入に要する打撃回数を測定）最大60回打撃します。10m離れると、普通に会話できます。

3. 調査位置

